

時代は若者が動かす

工学部長 佐々木 和 夫

長い受験戦争をとにも角にも乗り越えて、無事広島大学に入学されたことを祝います。初志貫徹で喜んでいられる人、遺憾ながら、あきらめて広島にした人、等々いろいろな人がいることだろうけれど、大学入学は人生における一つの大きな節目ですから、ここで一度自己を見つめてみて下さい。

あたり前の話ですが、次世代を担うのは若いあなた方の世代です。そのことを確認してほしいのです。と言われても諸君にはあまりピンとくるものがないでしょう。我が国は、政治も経済も、一見したところ老人が牛耳っているかのようです。諸君の大多数は、まだ親がかりで、経済的にも社会的にも自立していません。だから、社会は老人によって動かされても、若者が発言し世を動かすなんてことは、現実味が乏しいかのようです。実は、つい先年までは私もそう思っていたのですが、フト思いあたるところがあって、世の中を動かしているのはやはり若者なんだと思うようになりました。世の中を動かしているのは若者なのに、若者自身がそのことに気がついていない。周りの人も気がついていない。そんな状況が現代なのではないかと思いついたのです。キッカケは単純なことです。ディスコがはやる。ライブがはやる。ファミコンがはやる。大学と言う名のレジャーランドが日本中にあふれる。原宿がにぎわう。アパレル産業にしる、スポーツ業界にしる、ターゲットは若い人です。産業界がうまく若者をあや

つっているとの見方もあるでしょうが、若者なしに我が国の経済活動は立ち行かないとの見方もあり得ます。老人が君臨する我が国の各種産業は、消費者としての若者の志向するところを汲まんとして追いかけています。お客様は神様だという名句がありました。さしづめ諸君は神様なのです。にもかかわらず、どうもそのことに諸君は気づいていない。それに気づいてほしいと思うのです。

昨年のTVドラマに西郷隆盛や大久保利通の時代が出ました。言うまでもなく、明治への変革は諸国の若い世代の人の情熱によって達成されました。若かったから出来たとも言えるし、若くても20才にもなれば十分なし得る能力があるとも言えます。時代が違っていると逃げないで下さい。いつの世も、若い世代には世の中を動かせる力があるのです。問題はそれを自覚するかしないかだけなのです。

私は、諸君をあおってるつもりも、べつらうつもりもありません。諸君の一人一人に自立して欲しいのです。人格的にはもちろんのこと経済的にも自立して欲しいのです。親が裕福で、諸君の学資を出して下さるなら、それを融資と解して、卒業後年賦で返済して下さい。自分で、親以外から融資を受ける才覚のある人は、進んでそうして下さい。経済的自立は、おそらく人格の自立にも極めて有益でしょう。そうなった時、外見的にも我が国は若者によって先導されることになるでしょう。